



聖ペトロ・聖パウロ

カトリック延岡教会

令和4年6月

ST.Peter & ST.Paul Nobeoka Catholic Church

〒882-0825 宮崎県延岡市須崎町4-3 ☎0982-32-6501◇FAX0982-20-4640◇HPwww.nobeoka-catholic.com

No48

延岡教会年間目標「福音宣教に向けて心を尽くしましょう。」

教皇フランシスコ回勅「兄弟のみなさん」を通して

《繰り返される物語》

物語（よいサマリア人）は、人類の兄弟愛を実現する道に登場する各人を通して、内的な闘いのダイナミズムが描かれています。日々わたしたちは、よいサマリア人であるか、無関心な旅人であるかの選択を突きつけられています。物語には、ただ二種類の人がいるだけです。痛みを介抱する人と放って通り過ぎる人です。まさに、わたしたちの様々な仮面レッテル、メッキが剥がれ落ち、本当の姿が現れるときです。

よいサマリア人の物語は繰り返されます。それは社会的、政治的無関心によって、現代世界の様々な場が荒廃していくさまに、一層映し出されています。たとえの中でイエスは、傷を負った男や助け人に怒りや復讐心が芽生えていたならばどうなったかという可能性は示しておりません。イエスは、人間の心の一番良いところを信頼しておられます。だからこのたとえ話をもって、愛に留まるようにと、励ましておられるのです。

《登場人物》

たとえ話は追いはぎに襲われた後から、イエスは話を始めます。次のように問われます。暴力から身を守るため、あるいは盗人を追いかけるために散ってしまい、傷を負った人を置き去りにしておくのですか。傷を負った人によって、わたしたちの和解し得ない分裂、非常な無関心、内輪の対立が正当化されるのですか。

それからたとえば、離れて通り過ぎる人にしっかりと目を向けさせます。足を止めずに先へ行くこの危険な無関心は、祭司やレビ人が突きつけられた現実から遠く離れていることを悲しく投影しています。一つは、自分の事に没頭すること、他の人に関与せず、無関心である事です。もう一つは、ただ目をそらすことです。

通り過ぎ人には、無視できない点があります。信

仰者であるということです。これは、神を信じて賛美することが、神の心に適う生き方を裏付ける訳ではないことを示す、鋭い警鐘です。兄弟姉妹に心を開くという信仰の生き方があり、それは、神に真に光られていることの裏付けとなるでしょう。

追いはぎは、知らぬふりをして通り過ぎる人々と密かに同盟を結んでいます。むしり取るために社会を利用し欺く人々と、自分の批判は確かだと思いつつも、その体制とそこからの資源を利用して生きている人は、同じ困いの中にいます。「何もかも間違っている」と言う欺瞞は、「どうにもならない」ということです。こうして、失望と絶望が深まり、それにより、連帯と寛大な心が消されていくのです。人々を落胆させることは、完璧な悪の世界ができあがることなのです。

傷を負った人を見てみましょう。時にわたしたちは、彼のようにひどく傷つき、道端に投げ出されたように感じます。骨抜きにされゆがんだり、内外の少数の利益に供するよう仕向けられたりしている社会制度のせいで、見捨てられたとも感じています。

《再起》

わたしたちには毎日新しいステージが与えられます。わたしたちは、新たなプロセスや変革を始めたり生み出したり出来る、共同責任者の場に置かれています。傷ついた社会の快復と支援に、参与しなければなりません。今日、兄弟愛の真髓を明らかにするための機会が目の前にあります。憎しみや恨みを募らせるのではなく、失敗した人の痛みを背負う、もう一人のよいサマリア人になる好機です。物語の旅人のように、必要なのは、ただ純粹に単純に、倒れた人を受け入れ、起き上がらせるために働くという無欲な望みです。サマリア人は、お礼や感謝を待つことなく去りました。奉仕への献身は責務です。連帯と思いやりの姿勢で、他者の脆弱さに心を配りましょう。 ※7月号に続きます。

ミサの案内

主 日	平 日
18時30分～(土曜日):延岡教会 6時20分～(日曜日) :聖心ウルスラ修道院聖堂 9時30分～(日曜日):延岡教会	6時20分～ :聖心ウルスラ修道院聖堂 ★10時～(毎月第1金曜日) :延岡教会

◎勉強会開催について

6月10日・17日・24日に、午前10時より行います(場所は、信徒会館です)。

◎初金曜日のミサについて

6月3日(金)・7月1日(金)、午前10時より行われます。

◎ミサ献金について

6月26日(日)年間第13主日は、「**聖ペトロ使徒座への献金**」となります。

◎ミサ時間の変更について

1. 7月2日(土)、**午後6時30分からのミサは、お休みと致します。**(スルピス森山信三被選司教様の司教叙階会場設営の担当のため、不在となります。)

2. **7月3日(日)の主日ミサは、午前9時**より行います。

(スルピス森山信三被選司教様の叙階式参加のため)

◎初聖体のついて

6月19日(日)キリストの聖体のミサの中で、「初聖体」を行う予定です。

◎主任司祭の動向について

7月4日(月)～6日(水)まで、「カトリック大分教区司祭研修」のため不在となります。

◎赦しの秘跡について

日曜日:午前8時45分から9時15分の間、告解室にて行います。
